

延岡
五ヶ瀬川

生物採取し水質調査 九保大学生が初参加

25.9.1



五ヶ瀬川で見つけた水生生物を調べる九保大生

九州保健福祉大の学生を対象にした水生生物調査が8月28日、延岡市下三輪町の五ヶ瀬川であった。学生8人が川の中に漬かって水生生物を採

取し、資料を参考に河川環境を調べた。

国土交通省延岡河川国道事務所が主催。同事務所は毎年、回所など市内を流れる河

川（4カ所）で小中学生を対象に水生生物調査を実施しており、今回初めて、同大学の学生にも参加を呼び掛けた。岩井堰（せき）下流の河原に集合した学生は、初めに簡易測定器を使ってアンモニアや水素イオンの濃度を調査。続いて川の中に膝まで漬かって、石の裏に生息する水生生物を採取した。トレーに



集めた水生生物はピンセットでつかんで1匹ずつ種類を確認。「きれいな水」「ややきれいな水」など生息環境ごとに分類された資料を参考に、ヒラタカゲロウやナガレトビケラなど見つけた数を紙に記入し、五ヶ瀬川の水質を確認した。

保健科学部言語聴覚療法学科1年の増満寛明さん（18）は「見たことがない生物が多く、水生生物を使って水質調査が行えることにも驚いた。今後も川で水生生物を見つけながら写真に撮って、河川環境を確認したい」と話していた。